

銀微粒子塗装で

インフル防げ

塗装会社のペイントサービス（江南市）が、抗菌効果の高いとされる銀微粒子を使った塗装技術を開発した。銀微粒子は、インフルエンザウイルスの接触感染を防ぐ効果があるといわれ、二十

江南の会社開発

九、三十日に布袋西保育園のトイレや給食室の壁などを国の補助金を得て塗装し、効果を調べる。市もこの実証実験に期待している。

光触媒（二酸化チタン）の表面に銀を付着させた銀微粒子は、大同特

保育園で抗菌効果調査へ

殊鋼（名古屋市中）が開発した。有害な細菌やカビ菌が付着しても、増殖を抑える働きをする。

両社は約十年前から、その塗装技術の実用化に着手。塗装表面に銀微粒子を均一に分散し、固着させるため、ペンキを塗り乾く前の表面に、静電気を利用して銀微粒子を吹き付け、食い込ませる方法を考案した。抗菌微粒子を混ぜ込んだ市販の抗菌塗料よりも効果が高いという。

ペイントサービスは昨年頃から、食品工場や病院など国内外の約五十カ所で施工。村瀬栄次社長

（五）は「手洗いやうがい 省ものづくり中小企業製造などと併用することで、品開発等支援補助金などを充てる。

効果的になる」と期待す
（四）ペイントサービス
る。施工費用の約二千四 電0587(59)6561
百万円は、本年度の経産
（出口有紀）



ことし1月春日井市内の小学校であった銀微粒子の塗布作業（ペイントサービス提供）